

# アンケート調査結果の概要

## 1 回収状況

郵送による一般市民対象のアンケート調査の回収率は、41.7%であり、比較的関心が高いことが伺える。

表 1 配布と回収数

調査区分	配布	宛先不明	回収	有効
一般	2,000 件	4 件	833 件(うち web 回答 98 件)	771 件
			41.7%	38.6%
高校生			500 件	500 件
大学生			25 件	25 件

※無効は、既定の選択数以上回答したもの

## 2 回答者属性

一般市民のアンケート調査では、性別による差はあまりないが、60歳代以上が半数以上を占めており、若干高齢者の割合が高くなっている。なお、大学生のアンケートでは、男性に偏っている。

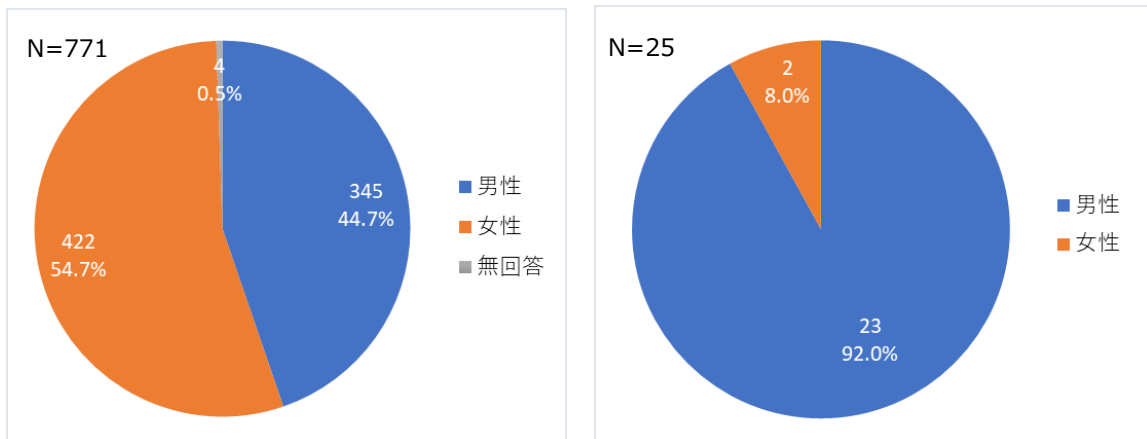


図 1 回答者の性別（左：一般、右：大学生）

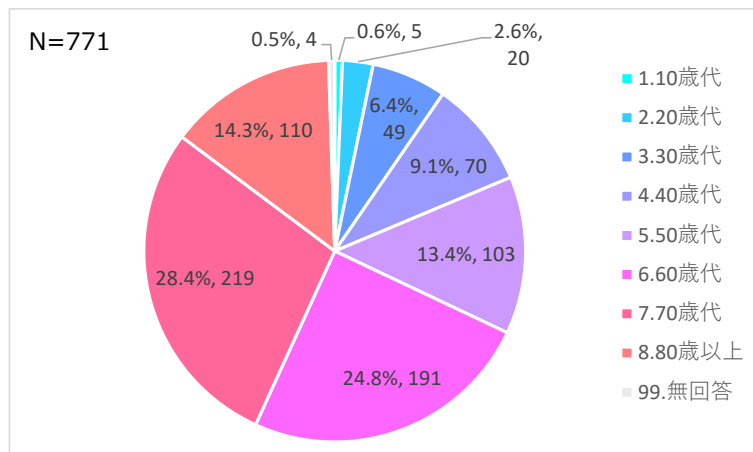


図 2 回答者の年齢（一般）

### 3 調査結果の概要

#### 3-1 土地利用

##### 1) まちの賑わい

土地利用については、バイパス沿道よりも中心部等の賑わいなど、市街地におけるまちづくりが重要と認識している一方で、市街地周辺部のまちの整備の重要度も高くなっている。

なお、高校生の回答も一般と同様の傾向にあるが、満足度及び重要度の割合が高く、満足度は一般の2倍以上となっている。

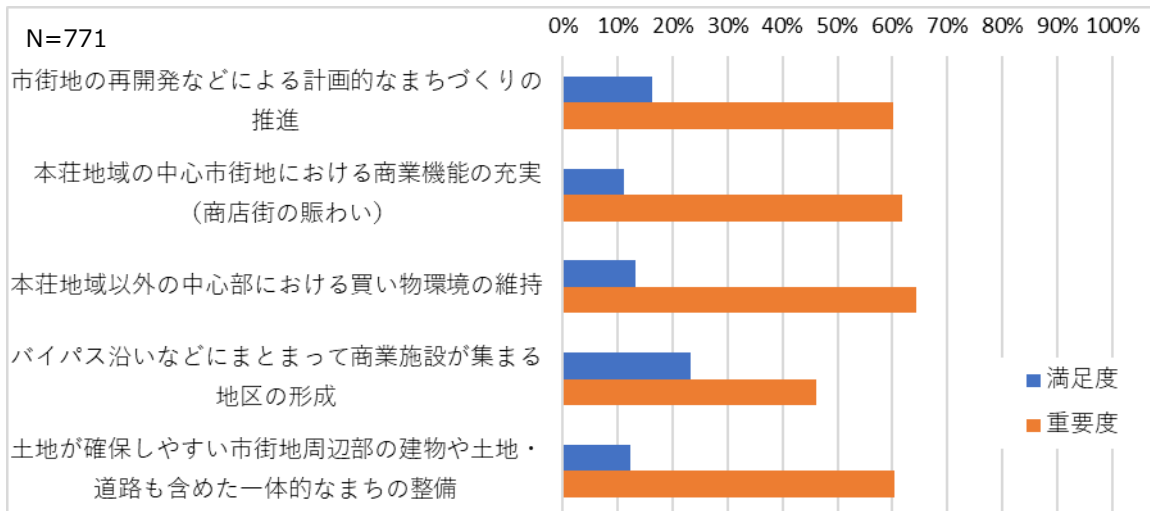


図 3 土地利用の方向性 (一般)

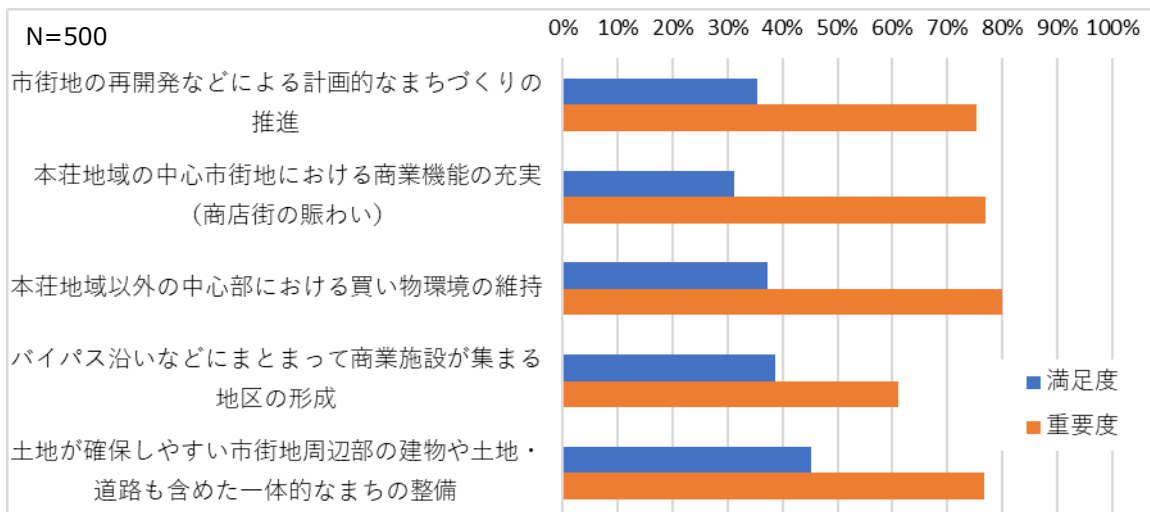


図 4 土地利用の方向性 (高校生)

## 2) 居住

居住については、郊外のゆとりある住みやすい住宅の満足度が高く、重要度も高くなっている。

高校生においても一般と同様の傾向かつ、満足度及び重要度の割合が高くなっている。

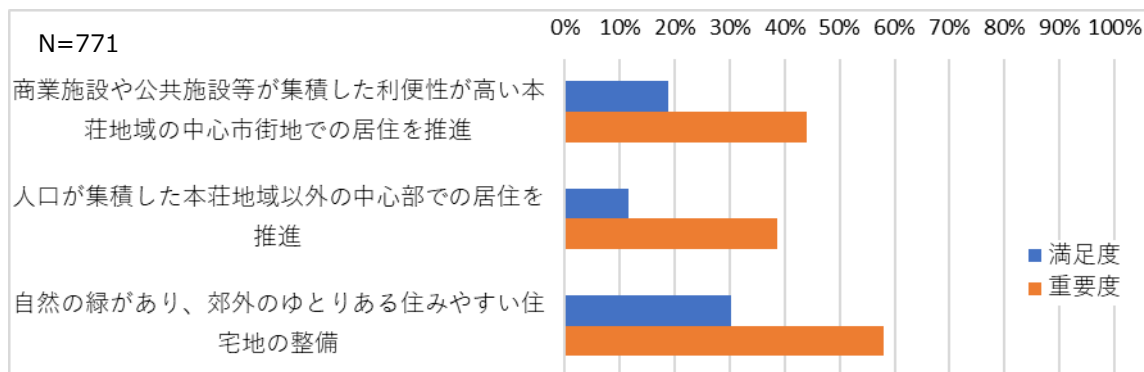


図 5 居住地の方向性（一般）

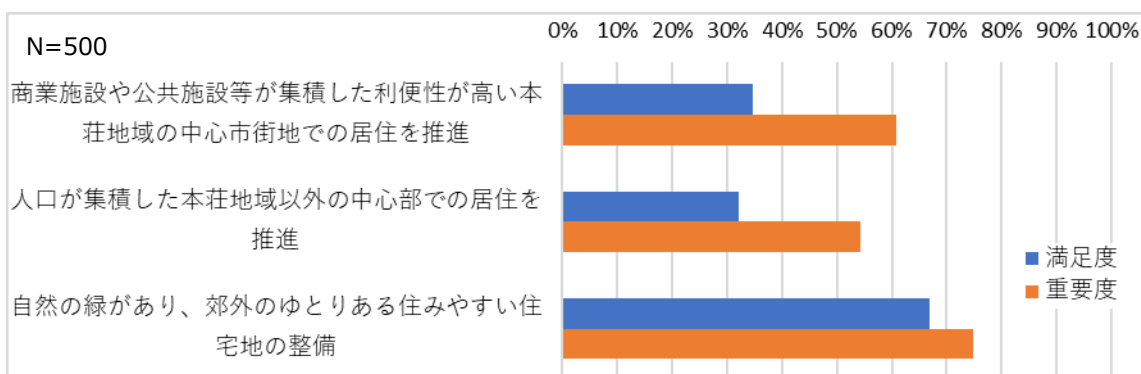


図 6 居住地の方向性（高校生）

## 3) 高齢者の住宅

高齢者が住みやすい住宅の整備は、一般の回答者が高齢者等に偏っているにも拘わらず、高校生の方が重要と考えている割合が多くなっている。

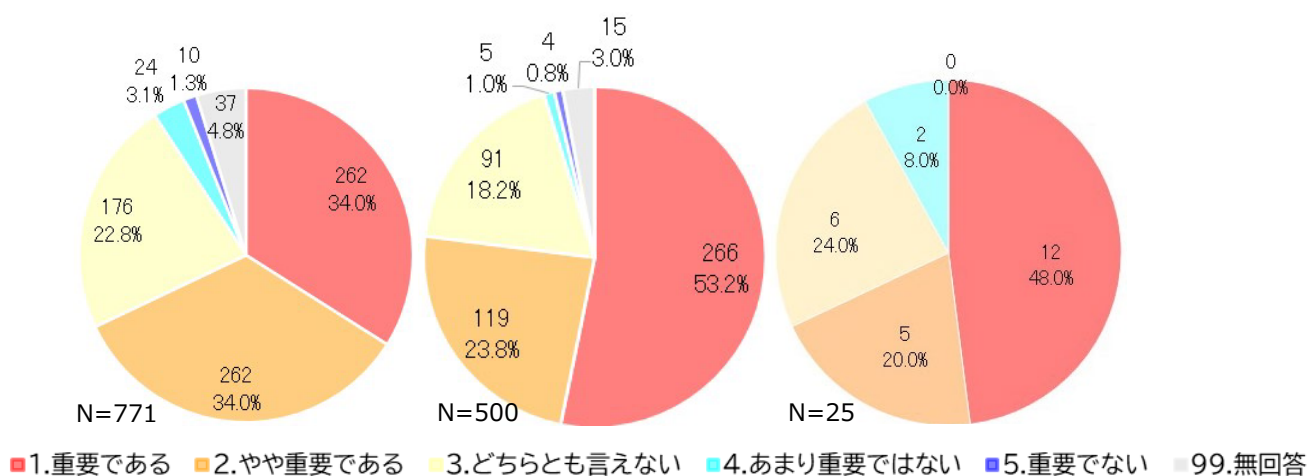


図 7 高齢者が住みやすい住宅の整備（左：一般、中：高校生、右：大学生）

### 3-2 交通

交通については、由利本荘市の地域特性として、積雪時の除雪の重要度が最も高くなっている。また、高校生や大学生は公共交通に関する重要度が一般に比べて大幅に高くなっている。

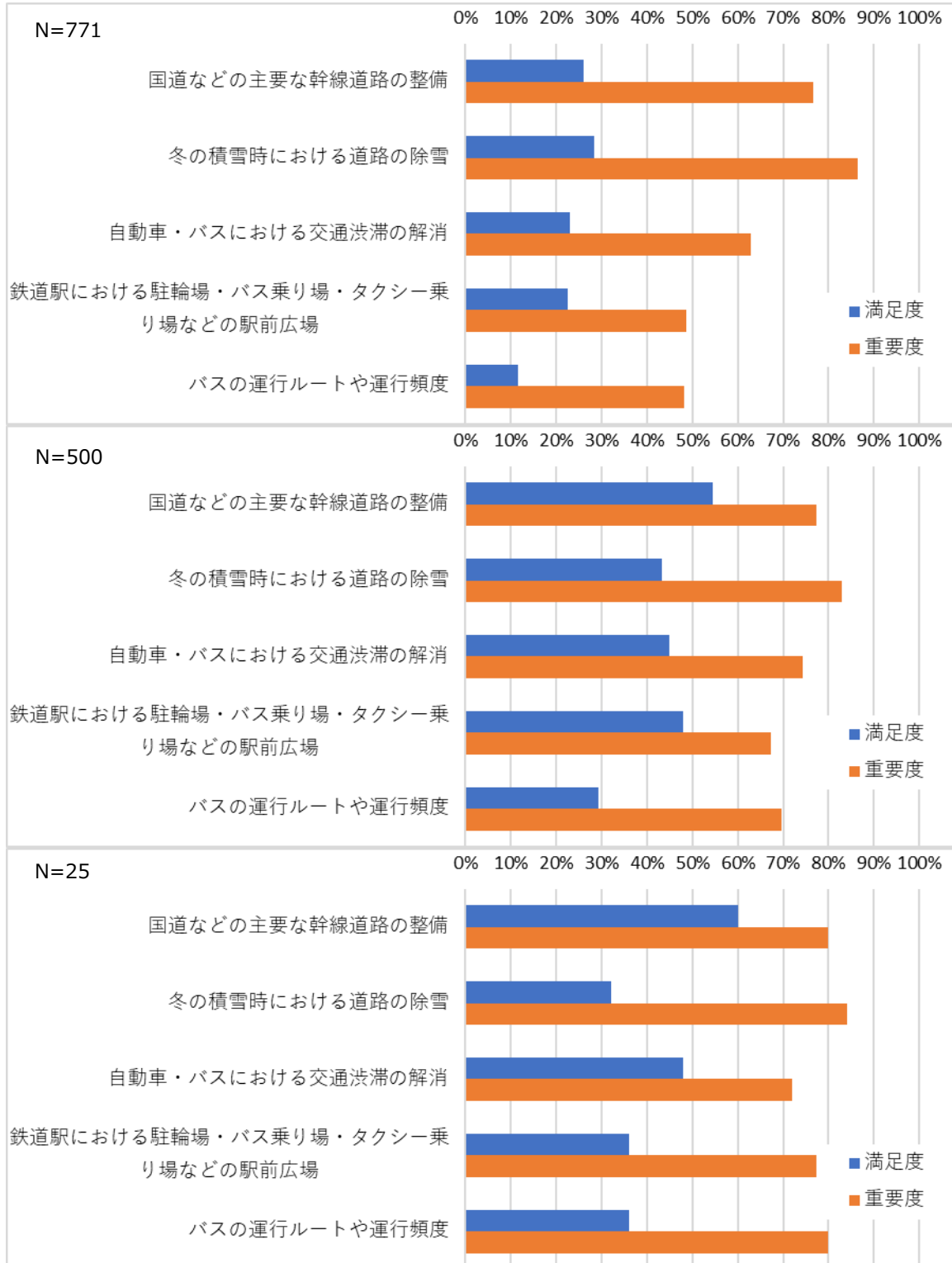


図 8 交通に関する意向（上：一般、中：高校生、下：大学生）

### 3-3 防災

防災に関する重要性の認識は、近年の頻発する災害の影響もあり、一般、高校生及び大学生ともに高くなっているが、一般では満足度が非常に低くなっている。

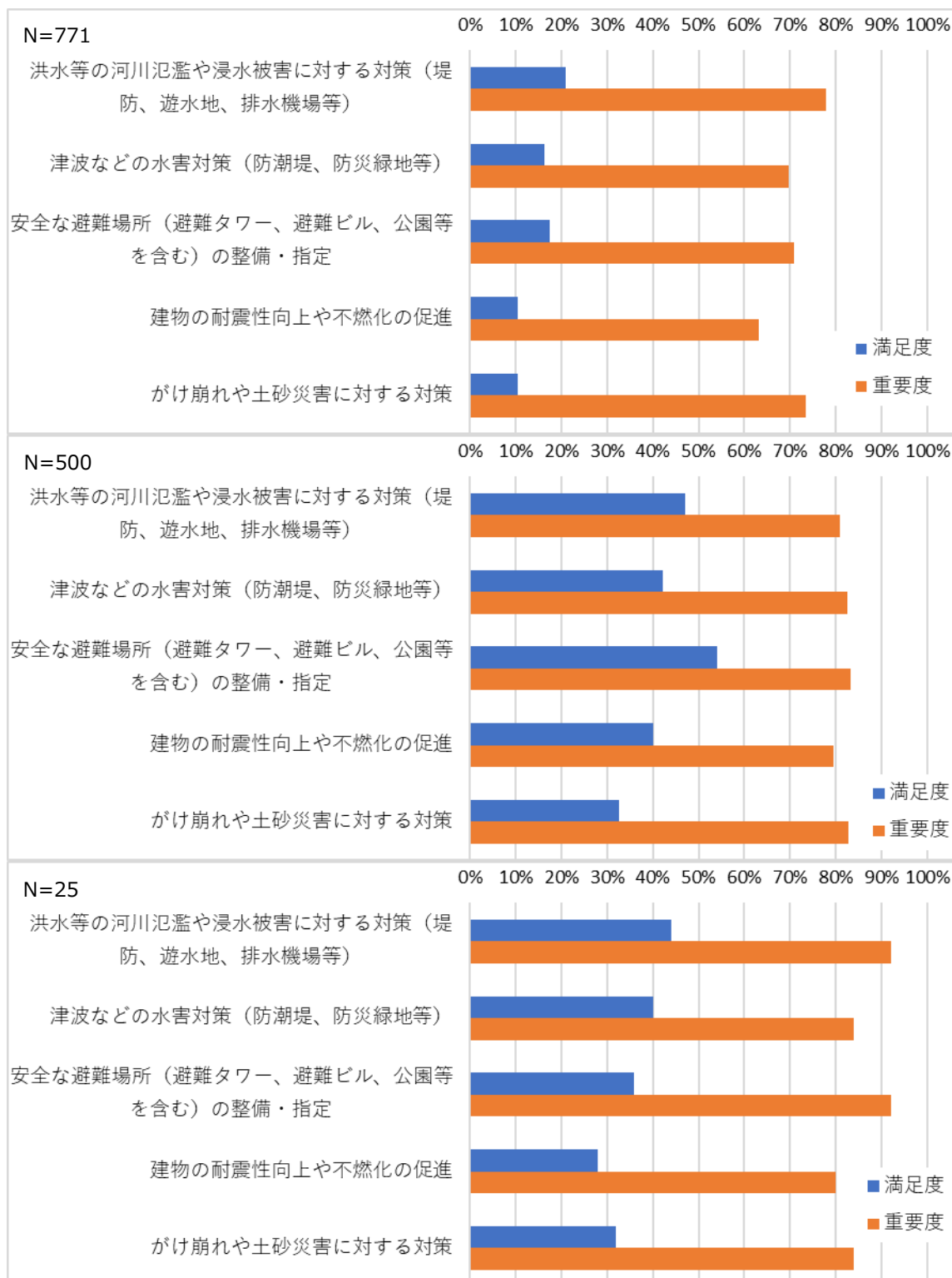


図 9 防災に関する意向（上：一般、中：高校生、下：大学生）

### 3-4 地区に必要な施設

本荘地域の中心市街地では、一般は「15.総合的な医療サービス（総合病院等）」「1.ショッピングセンター」 「5.観光・レジャー・レクリエーション施設」、高校生は「1.ショッピングセンター」 「4.飲食店・レストラン」 「5.観光・レジャー・レクリエーション施設」が多くなっている。

各居住地域の必要な施設（各地域合計）を見てみると、一般では「2.スーパーマーケット」 「16.単科の医療サービス（診療所、医院）」 「15.総合的な医療サービス（総合病院等）」が多く、高校生は「1.ショッピングセンター」 「4.飲食店・レストラン」が多くなっている。

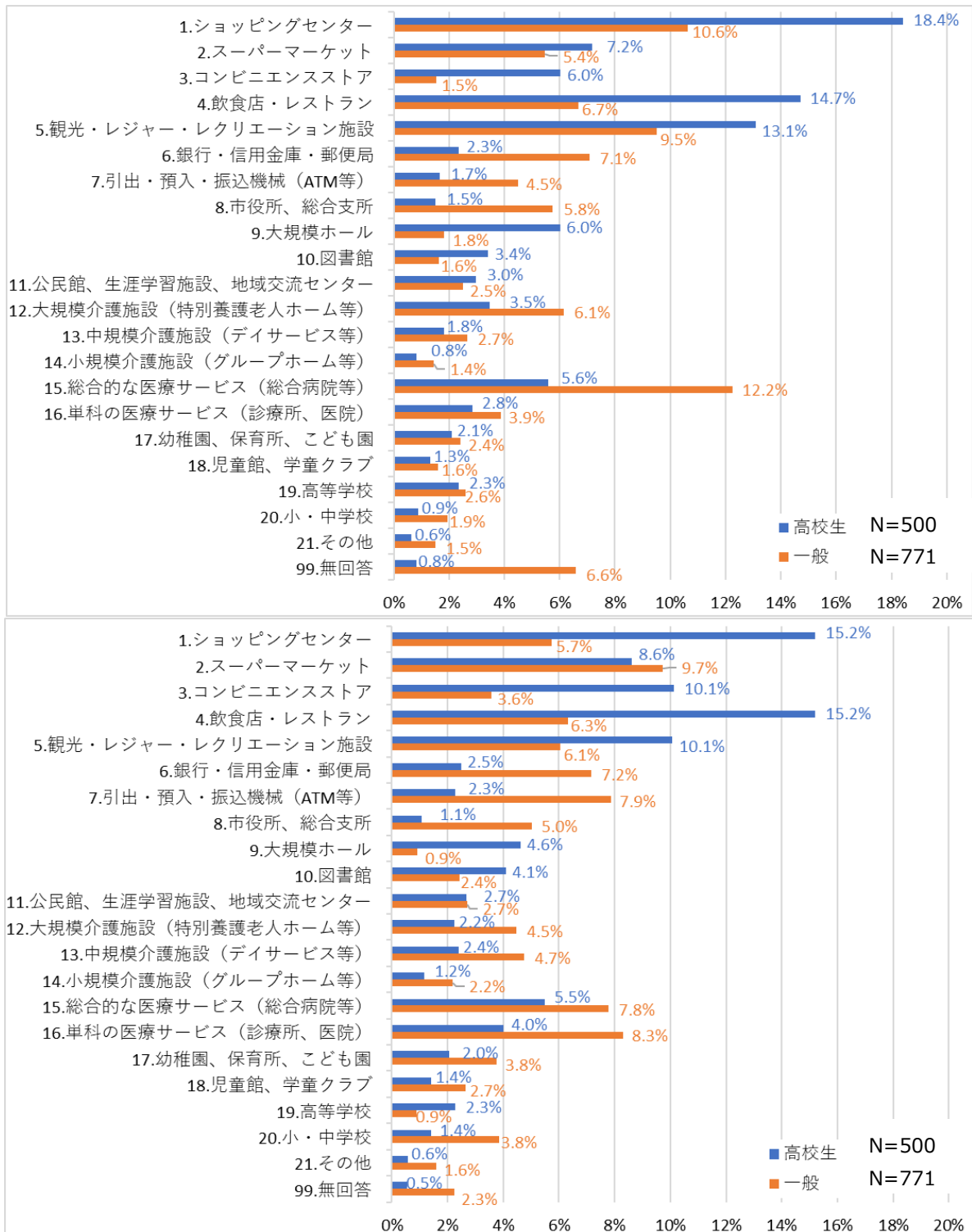


図 10 必要と思われる施設 (上：本荘地域中心市街地、下：居住地域の合計)

中心部付近の地区（中部地区、梵天地区、南部地区）を見てみると、「15.総合的な医療サービス（総合病院等）」が最も多く、次いで「2.スーパーマーケット」等となっている。

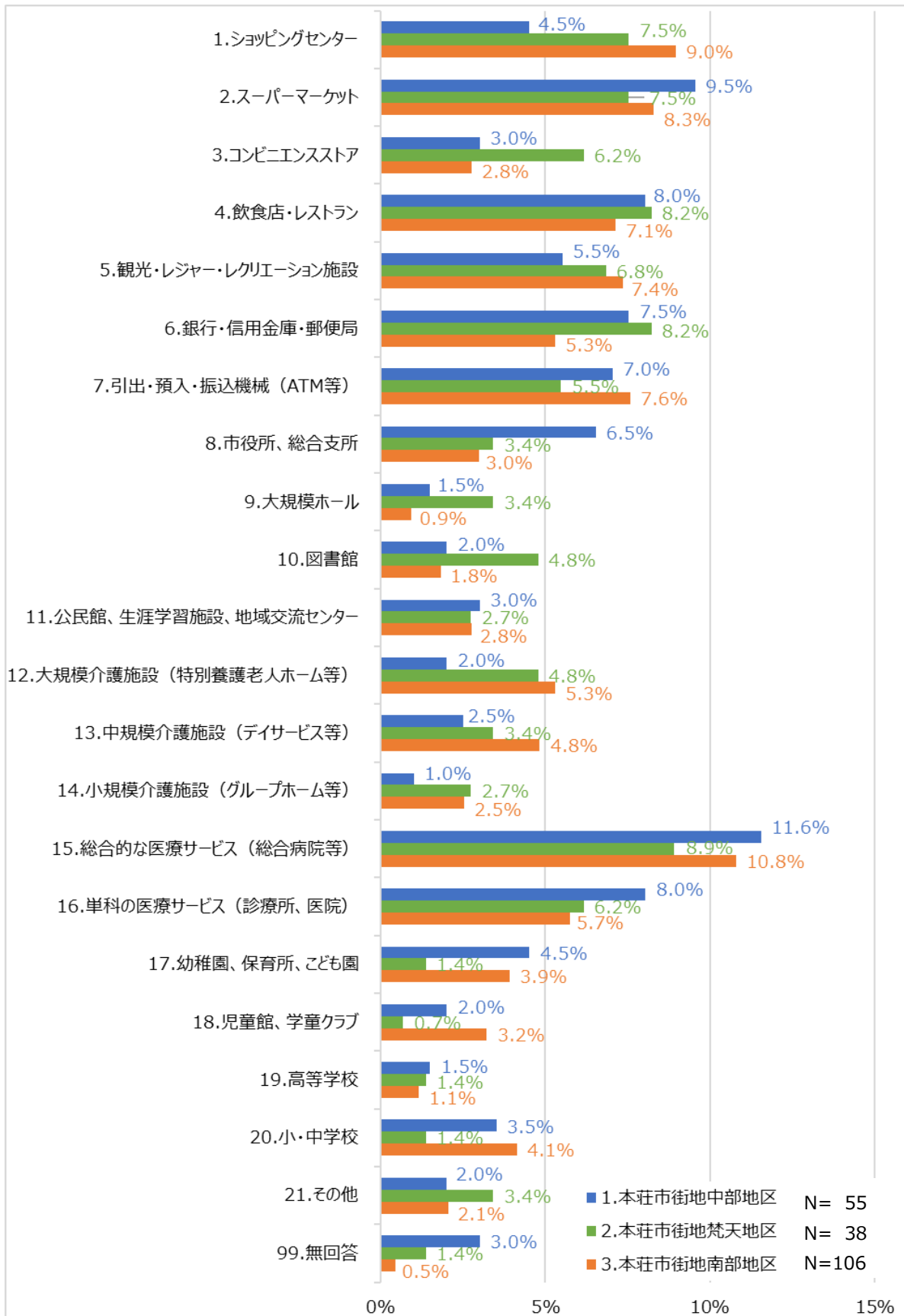


図 11 必要と思われる施設（本荘市街地中心部）

### 3-5 人口減少や少子高齢化の影響で困ること

「7.高齢化の進行により、医療費などの社会保障費が増加する」「8.人口が減少するため、1人あたりの税負担が増加する」が多くなっており、「社会保障費が増加」は高齢者、「税負担が増加」は若年層が多い結果となっている。なお、10歳代では「鉄道やバスの運行本数が減る、路線がなくなる」、20歳代では「スーパーなどの撤退」も多くなっている。

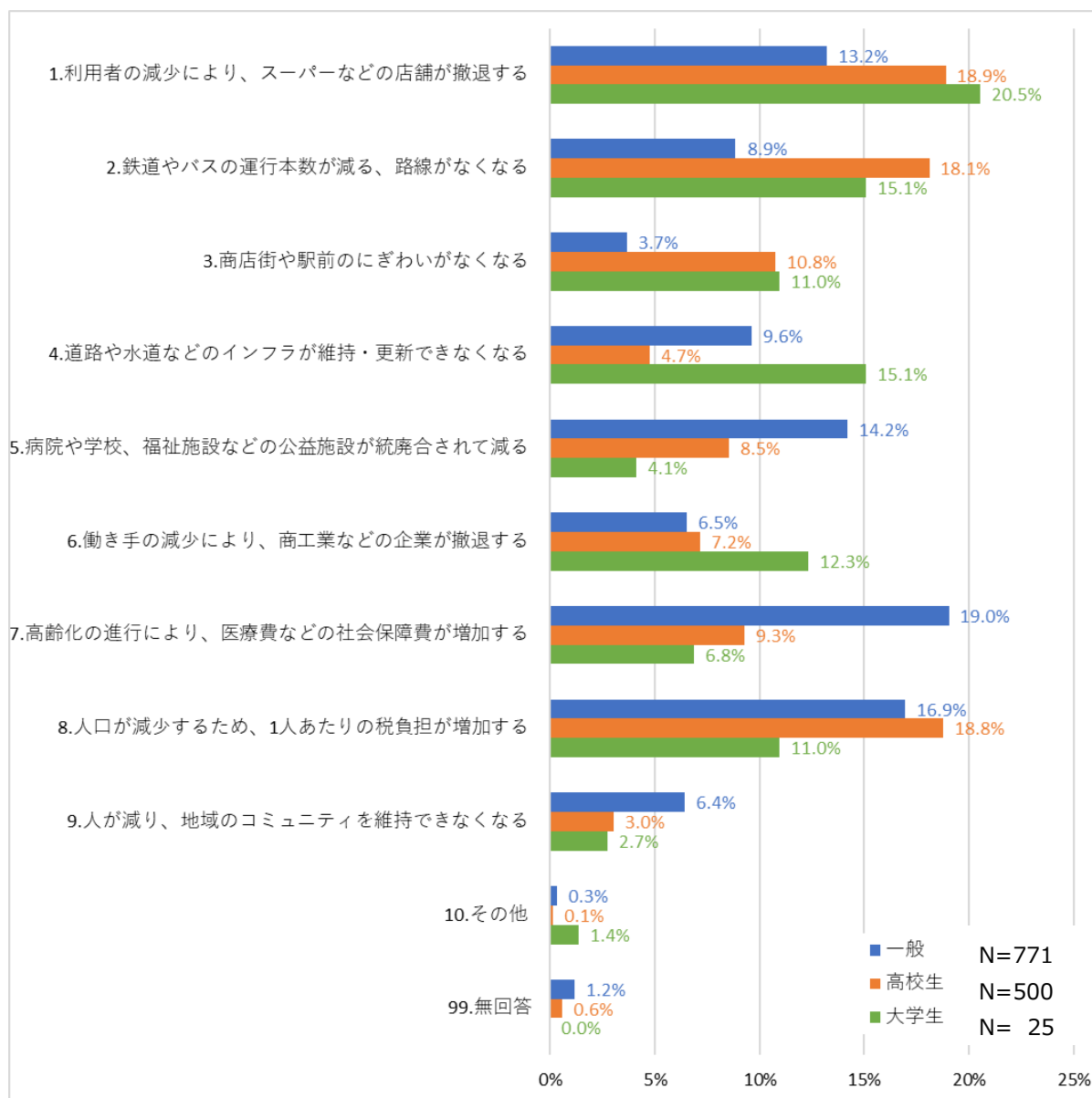


図 12 人口減少や少子高齢化の影響で困ること



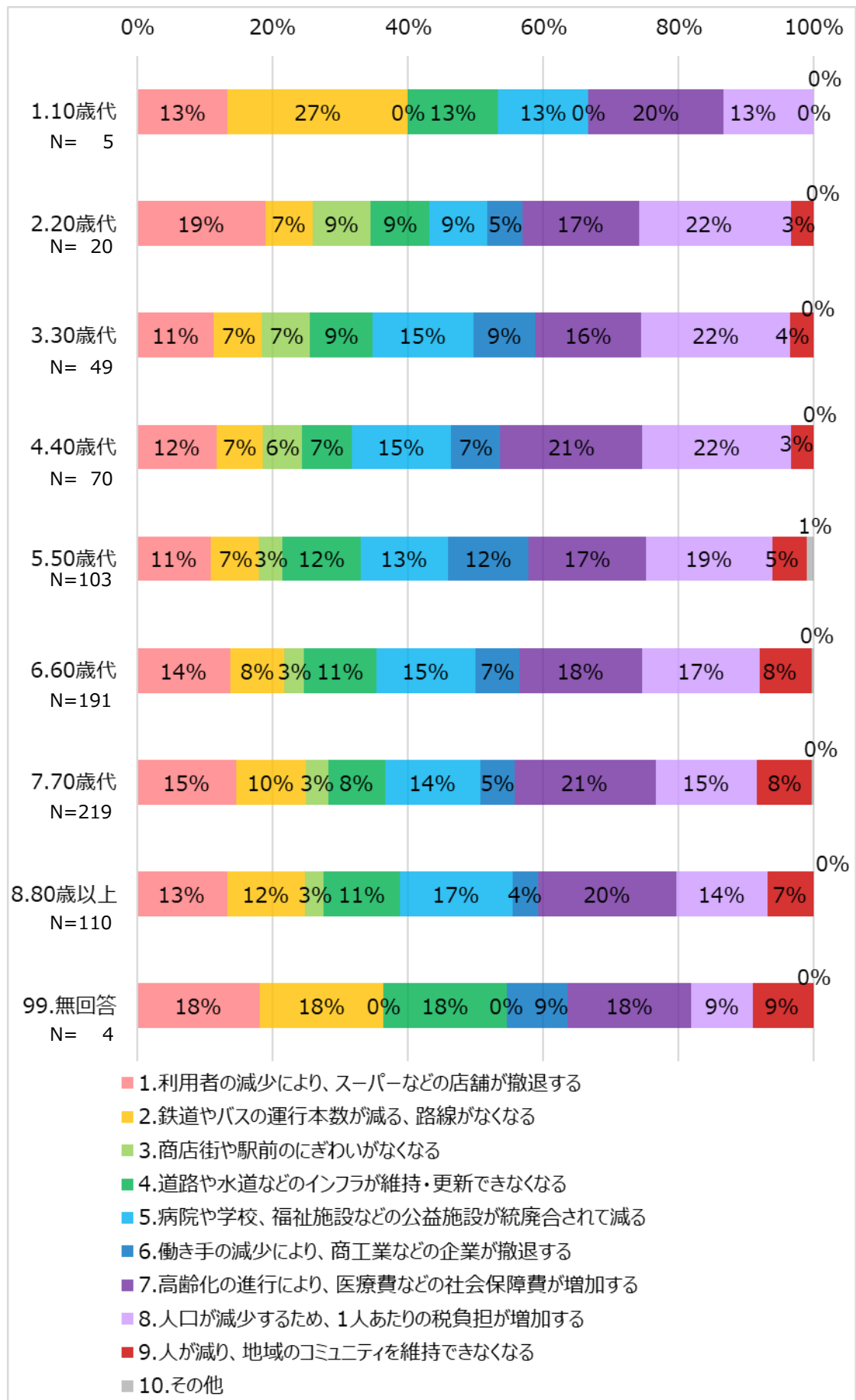


図 13 人口減少や少子高齢化の影響で困ること（一般年齢別）

地区別で見ると、東由利地域や由利中心地区において、「スーパーなどの撤退」が多くなっている。

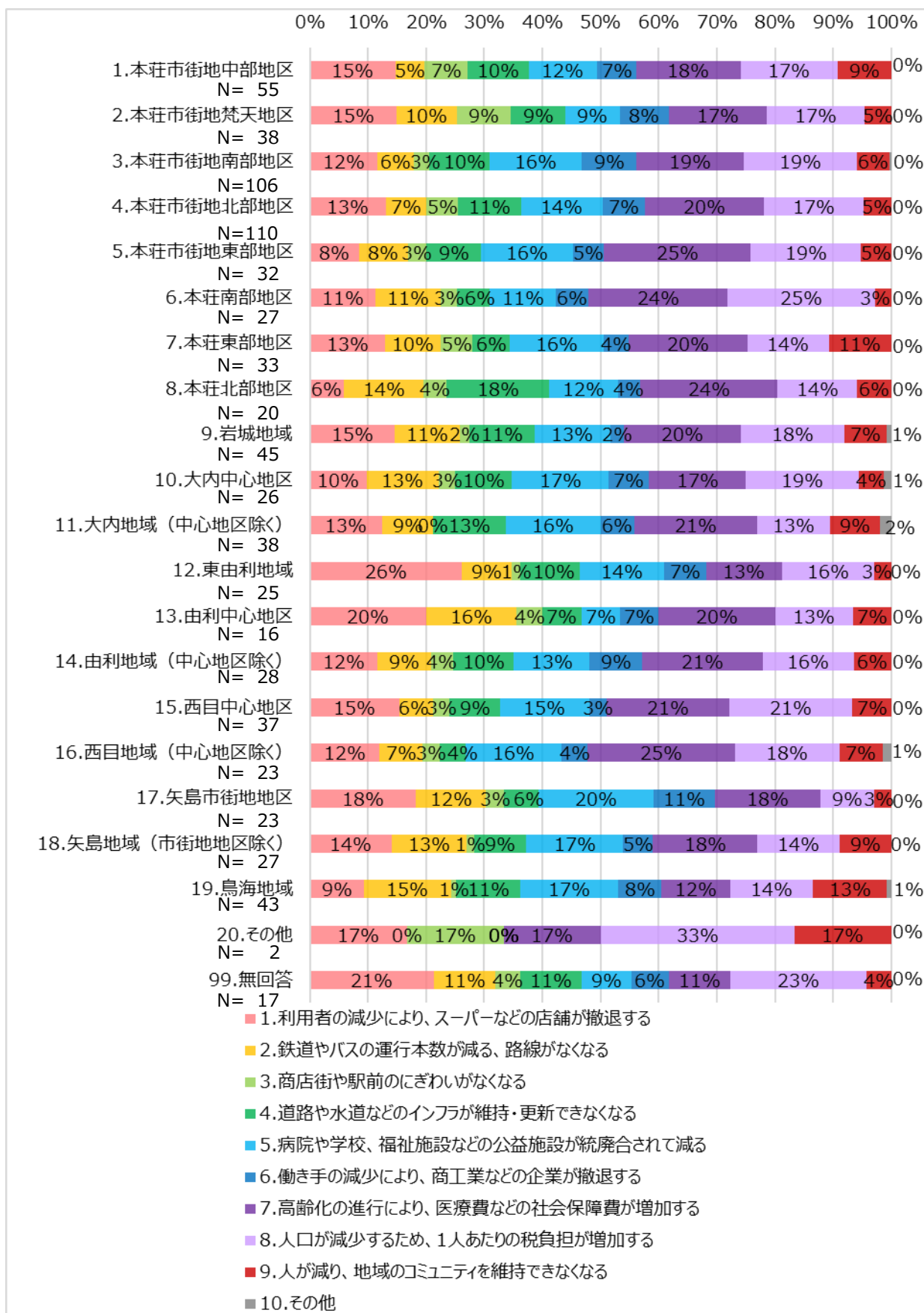


図 14 人口減少や少子高齢化の影響で困ること（一般地区別）

### 3-6 居留意向

比較的継続的な居留意向が高く、その理由としては、「なじみや愛着がある」が多くなっている。なお、梵天地区では「買い物や飲食、娯楽などが便利」、本荘南部地区や鳥海地域では「緑や自然環境が豊か」も多くなっている。

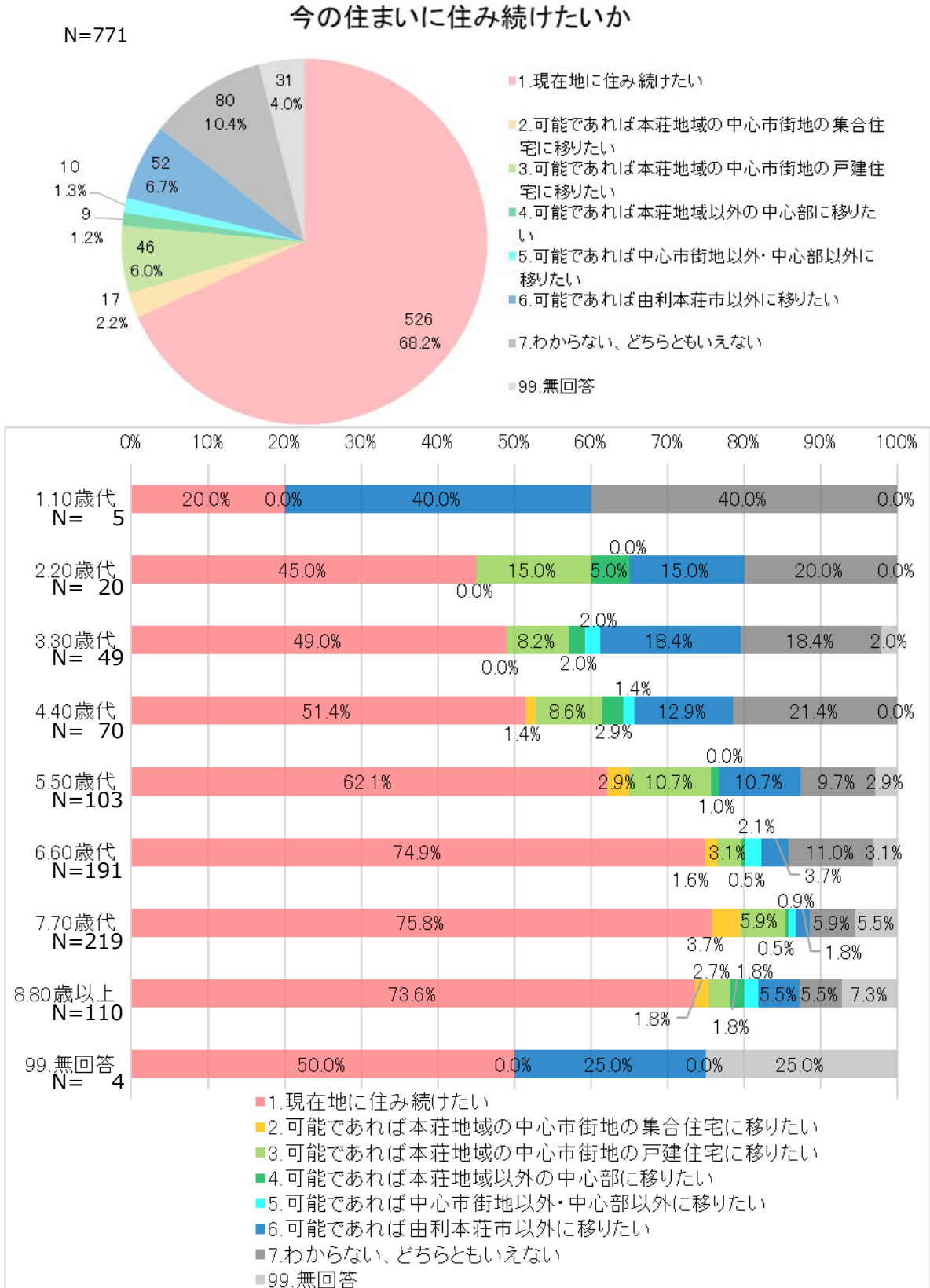


図 15 居留意向 (上：一般全体、下：一般年齢別)

地域別では郊外を中心に「現在地に住み続けたい」の割合が少なくなっており、特に、「本荘北部地区」「矢島地域（市街地地区を除く）」「鳥海地域」「本荘南部地区」「由利地域（中心地区除く）」で低くなっている。

一方で、「本荘北部地区」は由利本荘市以外への移転、「矢島地域（市街地地区を除く）」「由利地域（中心地区を除く）」は本荘地域中心市街地への戸建住宅への移転を希望している。

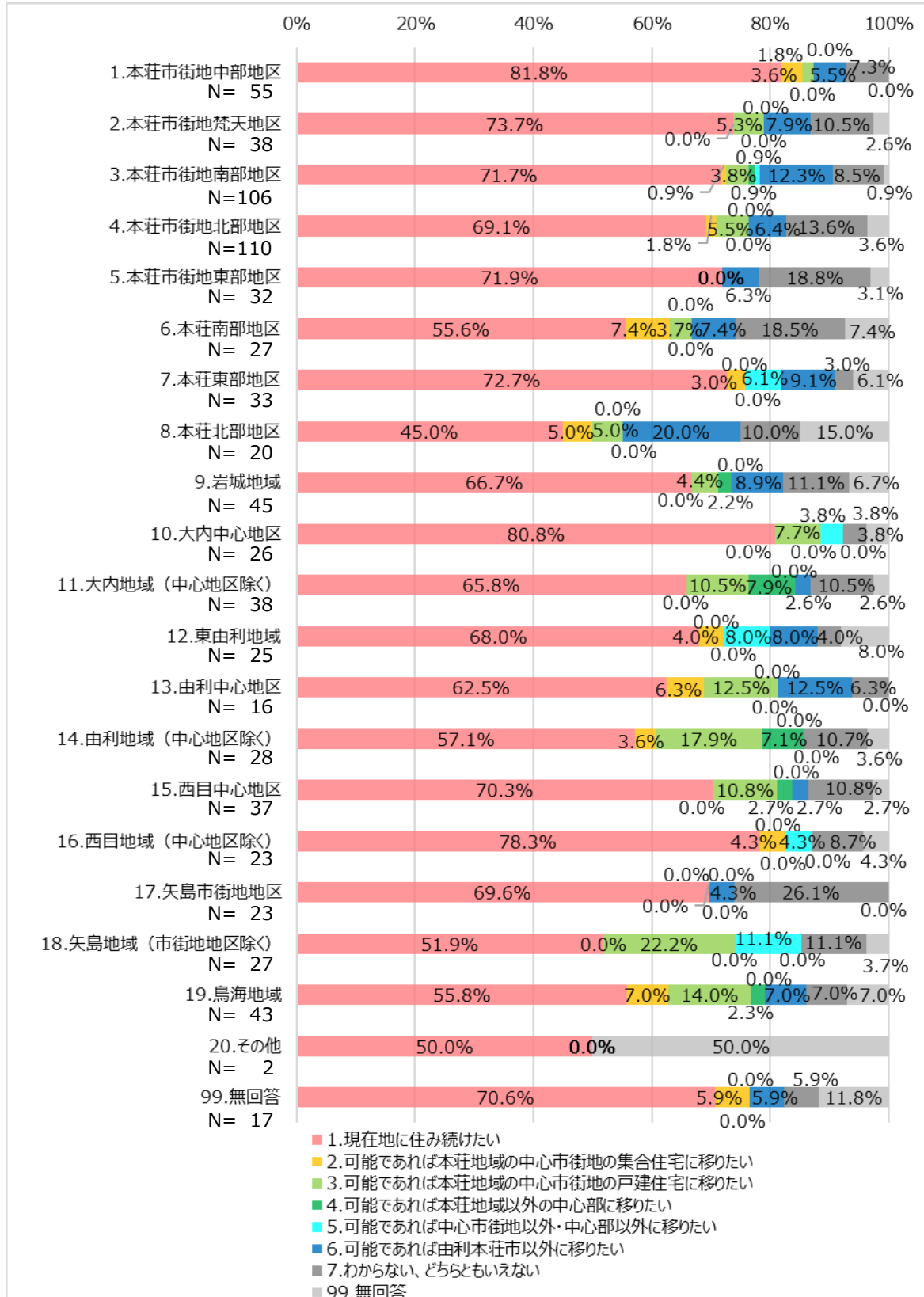


図 16 居住意向（一般の地区別居住意向）